

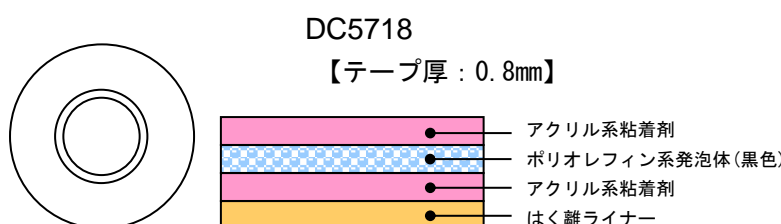
両面接着テープ

DC5718

概要

柔軟な発泡体基材に、様々な被着体によく接着するアクリル系粘着剤を貼り合わせた両面テープです。DC5718 は、被着体の表面凹凸に対する追従性が良く、接着性や防水性に優れております。金属やプラスチックに対しても強力に接着します。

テープ構成



特長

- 金属やプラスチックに強力に接着します。
- 柔軟な薄層フォームを基材として使用しています。
- 被着体の凹凸追従性が良く、接着性や防水性に優れます。
- ハロゲンフリータイプです（ハロゲン化合物を意図的に配合使用しておりません）。
- RoHS 指令忌避 10 物質を使用しておりません。

用途例

- プラスチック・金属製ネームプレートの固定
- 住宅建材、家電機器等の水回り固定

サイズ

テープ厚 (mm)	幅 (mm)	長さ (M)
0.8	480、960	20、50

詳細は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

DC5718 10-P-0497_J (1/6)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。

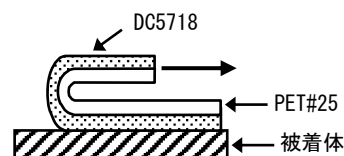
特 性

●180° 引き剥がし粘着力ー被着体別

被着体	DC5718
ステンレス板	29.5
A B S 板	20.2
アクリル板	30.5
ポリカーボネート板	30.0
ポリプロピレン板	11.8
アルミニウム板	28.7
鉄板	26.5
ガラス板	30.7
ベニヤ板	12.9

(単位：N/20mm)

試験片：20mm 幅
裏打ち材：PET#25
圧着方法：2kg ローラー1 往復
圧着温度：23°C/50%RH
養生条件：23°C/50%RH×30min
引張速度：300 mm/min
引張角度：180°

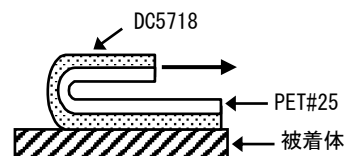


●180° 引き剥がし粘着力ー温度別

温度	DC5718
-10°C	17.8
0°C	25.1
10°C	28.6
23°C	29.5
40°C	28.5
60°C	25.7
80°C	18.4

(単位：N/20mm)

被着体：ステンレス板
試験片：20mm 幅
裏打ち材：PET#25
圧着方法：2kg ローラー1 往復
養生条件：測定温度×30min
引張速度：300 mm/min
引張角度：180°
測定温度：-10°C、0°C、10°C、23°C、40°C、
60°C、80°C



DC5718 10-P-0497_J (2/6)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。

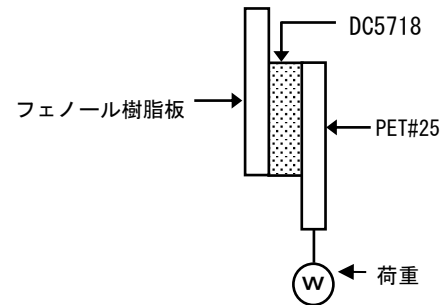
特 性

●保持力

温度	DC5718
40℃	1.2
60℃	1.8

(単位：mm/hr)

被着体：フェノール樹脂板
 裏打ち材：PET#25
 圧着方法：5kg ローラー1 往復
 養生条件：測定温度×30min
 測定温度：40、60℃
 貼付面積：20mm×10mm
 荷重：4.9N(500g)
 負荷時間：1時間

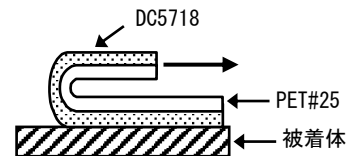


●貼付け後の180°引き剥がし粘着力—上昇性

温度	経時	DC5718
23℃	30分後	29.5
	4時間後	34.2
	12時間後	35.7
	24時間後	36.4
	48時間後	37.0
	72時間後	37.5

(単位：N/20mm)

試験片：20mm幅
 裏打ち材：PET#25
 被着体：ステンレス板
 圧着方法：2kg ローラー1 往復
 圧着温度：23℃/50%RH
 養生条件：23℃/50%RH
 引張速度：300mm/min
 引張角度：180°
 測定温度：23℃/50%RH



DC5718 10-P-0497_J (3/6)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。

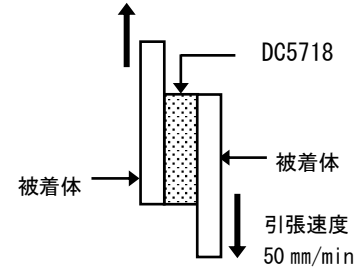
特 性

● 剪断接着力

温度	被着体	DC5718
23°C	ステンレス板	450
	アクリル板	450
	ポリカーボネート板	460
	ABS 板	400
	PET 板	430
	ポリプロピレン板	390
	ガラス板	450

(単位：N/20mm×20mm)

貼付面積：20mm × 20mm
 圧着方法：5kg ローラー1 往復
 圧着温度：23°C/50%RH
 養生条件：23°C/50%RH × 30min
 測定条件：23°C/50%RH
 引張速度：50mm/min

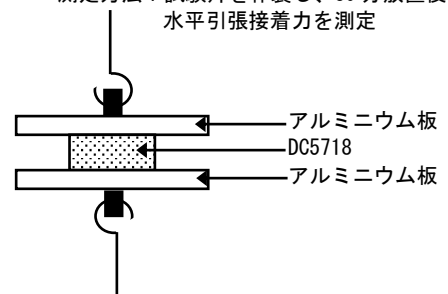


● 水平引張接着力

温度	DC5718
23°C	206

(単位：N/20mm×20 mm)

被着体：アルミニウム板/アルミニウム板
 貼付面積：20mm × 20mm
 圧着方法：5kg ローラー×10 秒
 引張速度：50mm/min
 測定温度：23°C × 50%RH
 測定方法：試験片を作製し、30 分放置後、
 水平引張接着力を測定



DC5718 10-P-0497_J (4/6)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。

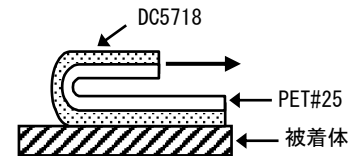
特 性

●貼付け後の変化—180° 引き剥がし粘着力

温度	経時	DC5718
23°C	1日	36.4
	30日	38.0
40°C92%RH	1日	42.5
	30日	42.7
50°C	1日	35.0
	30日	36.5
70°C	1日	32.5
	30日	33.7

(単位：N/20mm)

試験片：20mm幅
裏打ち材：PET#25
被着体：ステンレス板
圧着方法：2kg ローラー1 往復
圧着温度：23°C/50%RH
養生条件：左表参照
引張速度：300 mm/min
引張角度：180°
測定温度：23°C/50%RH

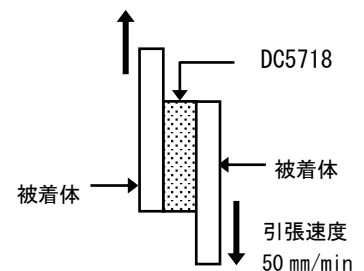


●貼付け後の変化—剪断接着力

温度	経時	DC5718
23°C	1日	470
	30日	490
40°C92%RH	1日	460
	30日	480
50°C	1日	430
	30日	445
70°C	1日	345
	30日	370
40°C温水	1日	470
	30日	435

(単位：N/20mmx20mm)

貼付面積：20mm x 20mm
被着体：アクリル板/アクリル板
圧着方法：5kg ローラー1 往復
圧着温度：23°C/50%RH
養生条件：左表参照
測定条件：23°C/50%RH



DC5718 10-P-0497_J (5/6)

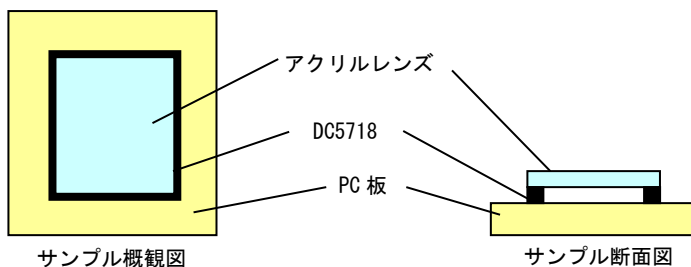
ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。

特 性

- 防水試験（IPX7 準拠、JIS C0920 による）

	DC5718
防水試験	IPX7 相当

レンズサイズ：40X60mm
両面テープサイズ：40X60mm（線幅 3mm の枠状加工）
圧着方法：2kg ローラー1 往復
圧着温度：23℃/50%RH
養生条件：23℃/50%RH×30min
試験条件：IPX7 に準拠（水深 1mX30min 浸漬）
測定温度：水温 23℃




使用上の注意

- 被着体の表面の油分・水分・ゴミなどは、きれいに除いてください。
- 感圧性粘着剤ですので、圧着はローラー・またはプレスにて十分行ってください。
圧着が不十分な場合、特性及び外観に影響を与えます。
- 凹凸面や歪みの大きいものにはきれいに接着しない場合があります。できるだけならしてください。
- テープ本来の粘着力を発揮するまでには、少し時間がかかりますので、少なくとも貼り付け後数時間はテープに大きな力がかかる置き方や使い方は避けてください。

保管の注意

- 必ず箱に入れて保管してください。
- 保管場所は直射日光の当たらない冷暗所を選んでください。

安全上の注意

 注 意
●使用に際しては、本製品が用途（目的・条件）に適合するか、十分検討の上、ご使用ください。 被着体や貼りつけ条件によっては、はがれたりする可能性があります。
●事故につながる可能性がある場所などに使用する際は、他の接合方法と併用してください。

2026 年 2 月発行

DC5718 10-P-0497_J (6/6)

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご使用いただく前に、被着体（テープに貼り合わせる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。なおこの文書に含まれる内容についての著作権などの権利は当社にあります。当社に無断での複写・転載その他の目的外のご使用は固くお断りいたします。